

SHIGERU SAKAI ACTIVITIES Vol.25

# 酒井茂の県政だより

発行責任者:酒井 茂 〒399-4432 伊那市東春近原新田8243 TEL/FAX.0265-73-5606



## 2期目(4年間)の活動報告

### 議員活動による成果



### 議会一般質問

- 質問回数 4年間で15回  
全ての定例会で質問  
※平成31年6月議会～令和4年11月議会
- 質問時間 4年間で累積5時間57分  
**2期連続、全議員中トップ**  
※2位の議員は4時間52分

### 一般質問等の 主な成果

#### ◎透明性の高い行政

- 公文書管理条例の制定を提案  
↓令和2年2月条例案を議決。  
令和4年4月から施行
- 「行政改革」  
「行財政改革方針」の策定を提案

- ↓令和4年度中に新たに策定
- 【総合5か年計画】

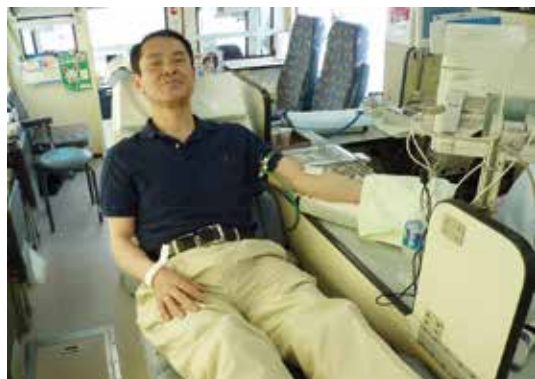
- 1 少子化・人口減少対策として挑戦的な施策を計画に掲げるよう提案

#### ◎医療・福祉・介護

- 1 病床数少数地域における病床の確保充実を提案
- ↓「医療計画」を令和5年度に策定。順次施策を充実

- ↓計画に掲げる旨の知事答弁
- 3 「女性が尊重される社会づくり」のために、「男女の固定的な意識や慣習を変えていく」施策を次期総合計画に掲げるよう提案

- ↓計画に掲げる旨の知事答弁。
- 少子化対策の財源の確保のため、新税の創設を検討する旨の知事答弁
- 2 少子化・人口減少対策として、「女性に選ばれる県づくり」に関する施策を計画に掲げるよう提案



毎年3回の献血は69歳の年齢制限で終了

- 2 医師少数地域における医師の確保充実を提案
- ↓「医師確保計画」を令和2年3月に策定。奨学金貸与事業の充実など順次施策を充実
- 3 「かかりつけ医」の推進を提案
- ↓今後国が「かかりつけ医」制度を検討するので、県として現実に即した提案を行う旨の知事答弁。政府は令和4年11月に制度化する方針を発表
- 4 「かかりつけ歯科医」の推進を提案
- ↓制度化されていないが、歯科医が定期的な健診と予防に関わっていたり、県として連携する旨の知事答弁
- 5 国が進める公立・公的病院の再編統合について県として慎重に対応することを提案
- ↓県として再編統合ありきでは進めない旨の知事答弁
- 6 不妊・不育に悩む方への支援充実等を提案
- ↓不妊に関する検査費用の助成制度の新設や治療費の助成制度の新設
- 7 県立高校の献血への取組が弱いので積極的に取り組むよう提案

- 案
- ↓令和3年度実施校1校が4年度実施又は検討中が5校に大幅増加
- 8 コロナ感染拡大に対応して県担当組織の設置を提案
- ↓令和3年8月に「感染症対策課」を設置
- 【福祉】
- 1 民生委員のなり手不足を解消するため、県が主導して民生委員の負担軽減を実現するよう提案
- 案
- ↓令和4年中に県が市町村担当課長等を対象に会議を開催し、市町村が民生委員の業務の整理・縮小をするよう要請
- 2 交通弱者対策としてA1(人工知能)を活用した乗合タクシーのシステムを県下に広めることを提案
- ↓県では「公共交通活性化協議会」を設置しているため、その中でタクシー活用のあり方を議論する旨の知事答弁
- 3 買い物弱者対策として移動販売車によるサービスが効果的であり、県下に広めることを提案
- ↓今年度策定する次期総合5か年計画に盛り込む旨の知事答弁
- 【介護】
- 介護人材確保のための施策の推進を提案
- ↓給与水準の向上等順次施策を充実

#### ◎女性活躍

- 1 県職員のうち女性職員の登用を提案
- ↓管理職への登用が進む(令和4年度県人事異動で過去最多)
- 2 女性が安心して県内に就職できるよう、的確な情報発信を行う

#### ◎教育

- 【高校教育】
- 高校再編に関して分かりやすく地域に説明することを提案
- ↓県教委として様々な説明の機会を設ける。再編対象校について
- ↑ことを提案
- ↓県内企業の魅力を発信し、企業自身の発信力強化のための支援を行う旨の知事答弁
- 【女性尊重】
- 「女性が尊重される社会づくり」のために、地域の公民館活動を活用して、地域に残る悪しき慣習や女性に対する差別意識を無くしていくよう提案
- ↓公民館活動に新たなメニューを加えるなどして、活動を充実する旨の教育長答弁
- 【義務教育】
- 特別支援学校の教室の増設やトイレなどの要整備箇所を改善するよう提案
- ↓伊那養護学校の3教室を増築予定。修繕に係る予算を増額。トイレの洋式化率を向上



伊那新校の校地となる伊那北高校